



JAMCAニュース

No.65

2010年4月1日

発行
協会事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

開校の原点に返って今何をすべきか

広島自動車大学校理事長
 広島工学院大学校理事長 古澤 敏昭
 全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

自己点検・自己評価

会社には社是があり、社員は社是を通して社会貢献のあり方を理解し、目的に向かって活動する。そして同業他社は、競争原理のもと適正利潤を求め、再生産資源を確保する。学校教育に置き換えて考えるならば、そこには学生、父母、学校の先生、広くとらえると一般社会全員という顧客第一主義の大原則がある。

少子化が定着しゼロサム社会に突入した現在の教育産業において、公立私立共に学校数は増加傾向にあり、公立職業訓練校は高卒者を対象とする低授業料での新規参入が可能となった。その環境下において、今一度創業時の原点にかえり、自己点検・自己評価を行い、「本校の理想とする特徴は何か」を問いかけてみる必要がある。

公立校と対比し、授業料の適正化や顧客満足確保を考える前に、社会で対応できる能力を学生に身につけさせるという、大きな、しかも基本的な課題に真摯に取り組まなければならないと考える。理想とする人間像を描くことにより、種々の教育課題を引き出すことができるだろう。本校においては「心技一体」という「建学の精神」がある。

建学の精神

知識及び技術・技能は勿論のこと、精神的にも豊かで健全なる身体を備



えた若者の育成に努めてきた。心・技・体が一体となって、三位渾然とした、幅広い知識と能力を持ち人間愛に生きる者は、人類の宝である。技術・技能を宿した健全な体を有し、博愛精神・人間愛に満ちた慈愛を持ち、共に協力して創造していく喜びと感動を求めて努力を惜しまない人材を輩出していくことを、本校は設立時から不変の目標としてきた。本校の教育方針は「調和・啓発・創造」に集約される。知識基盤社会において、社会規範をきちんと守れる人を育てていきたいと考えるのである。

一般社会に通用する人間は、個々の能力・人格を認め合う精神的調和のとれた者でなくてはならない。そして精神的調和のとれた者は、その能力・人格を、自己啓発及び相互啓発により増進させられる。「今日は昨日よりも、明日は今日よりもまさる者となる」という確信のもとに人は成長を続け、先見性・創造性・独創性を備え判断力に優れた者となる。本校は「調和・啓発・創造」を

方針として掲げた教育により、「心技一体」の建学精神に合致した人材の養成を目標としている。

教育付加価値の見直し

今日の社会経済は激動しつつ混沌とし、諸環境はスピードをもって変化する時代となった。例えば、二級自動車整備士と4年間養成課程とのそれぞれの特徴を備えた人材養成が可能であるなか、一級自動車整備士との教育付加価値の違いは何かを、教育に携わる教職員一同が理解し、自信をもって一般社会に対してアピールする必要がある。

幅広い知識と技術・技能を体得し、一般の4年制大卒の人たちとは違った人間像を形成し、生涯を通して自らが選択した自動車整備士という職業に誇りを持ち、世間に通用する、悔いのない人生を送れる者を輩出したいという考えのもと、教育を行ってきた。過当競争の環境のもと、今一度教育内容に反省を加え、冷静に「建学の精神」と向き合い、自己点検・自己評価を行っていききたい。

CONTENTS

- 2面 温暖化と自動車の環境技術
- 3面 我が校自慢
- 4・5面 幅広い分野で生き生き
頼もしい卒業生たち
- 6面 トピックス・アイドルタイム
- 7面 活躍卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記